

金沢大学附属病院先端医療開発センター
生物統計家（特任助教）の公募について

記

- 1 職 名 特任助教 1名
- 2 応募資格 以下の条件を満たす者
①臨床研究の統計解析業務に関する実務経験のある者
②博士の学位を取得している者又は取得見込みの者
- 3 職務内容 医師主導臨床研究の支援および臨床研究方法論に関する研究，教育
- 4 採用予定 面接後のできるだけ早い日
- 5 公募期限 平成29年9月30日（ただし、公募期限までに採用者が確定した場合は、その時点で公募は終了といたします。）
- 6 待 遇 就業規則等については，下記の URL をご覧下さい。なお，給与は学歴・職務経験等を考慮して決定されます。
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>
- 7 必要書類 (1) 推 薦 書 （必須とはしないが，提出しない場合は，応募者に関して問い合わせ可能な2名の方の住所，電話番号，電子メールアドレスを記載したメモを添付すること。）
(2) 履 歴 書 1通（様式1）
(3) 業績目録 1通（様式2）
※上記書類は，選考後においても返却しません。
- 8 書類提出先 〒920-8641 金沢市宝町13番1号
金沢大学附属病院総務課人事係 あて
（親展とし，表書きに「附属病院先端医療開発センター生物統計家特任助教応募」と朱書きし，郵送の場合は書留でお願いします。）
- 9 本件問合せ先 事務担当：人事係 大菅
TEL 076-265-2059, FAX 076-234-4320
- 10 付 記 (1) 選考の過程でご来学を願うことがあります。
(2) 本学においては，男女共同参画を推進しており女性教員の積極的な登用を行っております。詳しくは，下記URLをご覧ください。ついては，多数の女性研究者の応募をお待ちしております。
<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

様式1

履 歴 書

現住所 TEL

ふりがな

氏名

印

生年月日 昭和 年 月 日生

現職

TEL

学歴 (高等学校入学以降)

医師免許 年 月 日 医籍登録 第 号

学位 学位名: 授与大学名:

取得年月日: 年 月 日

資格

職歴 (外国出張等についても記入してください。)

加入学会 (期間, 学会名, 学術団体名, 役職名)

その他特記事項 (教育ワークショップ等への参加, 学生生活指導, 管理運営, 兼任公職,
社会貢献, 特許等)

賞 罰

科学研究費補助金・助成金等

(直近5年間について, 代表・分担別に種目・課題名・研究期間・金額を含め記載のこと。)

(用紙はA4版横書きとしてください。)

業 績 目 録

I 著書

1. 金沢太郎 : アルツハイマー病の現状と展望, 150頁 (医学書院, 東京) 1995
2. Kakuma,I and Knazawa,T. : Ischemic cell death in the liver. pp99-104(Ed.M.M.LaVail,Degenerative diseases. Plenum Press,New York)1998

【著者名, 書名 (共著又は分担のときは, その区分及びそれぞれの氏名), ページ (始～終), 発行所名, 発行年 (年代順)】

II 総説

1. 石川二郎, 金沢太郎 : 人工弁とその移植, 最新医学 57, 304 - 310, 1999
2. Knazawa,T. and kakuma,H. Tumor immunotherapy with dendritic cells. Ann Rev Immunol17,145-173, 2000

【著者名, 題名, 発表誌名, 巻, ページ (始～終), 発行年 (年代順)】

III 原著

A. リン酸化に関する研究

1. 金沢太郎, 石川二郎 : リン酸化プロテオーム. 内科 12, 697-705, 1998
2. Kakuma,H and kanazawa,T. : Synaptic function of tyrosine phosphorylation.J Biol Chem 259, 12348-12352,2000

B.

- 1.
- 2.

【原著 (研究分野ごとにまとめ, 類別した標題には, A, B, C・・・を冠する。

著者名, 論文題名, 発表誌名, 巻, ページ (始～終), 発行年 (年代順)

【注】 著書, 総説, 原著とも, その著書名の記載順は, 発表時のままとし, 変更しないでください。】

IV 学会発表 (国際学会, 国際招待講演等)

1. Kanazawa,T. : Health promotion in 21st century,15 th Internatioal Conference of Occupational, Health Washington,1996
2. 石川二郎, 金沢太郎 : 神経再生の現状と展望, 第8回日本再生医療学会, 東京, 1999

【学会発表等 (国際学会の場合は, 発表演者に限る。国内学会の場合は, 特別講演, 教育講演, シンポジウム及びワークショップ等に限る。】

※著書, 総説, 原著, 学会発表等は, 年代順に1, 2, 3 の番号を付記してください。また, 候補者名には下線を付してください。